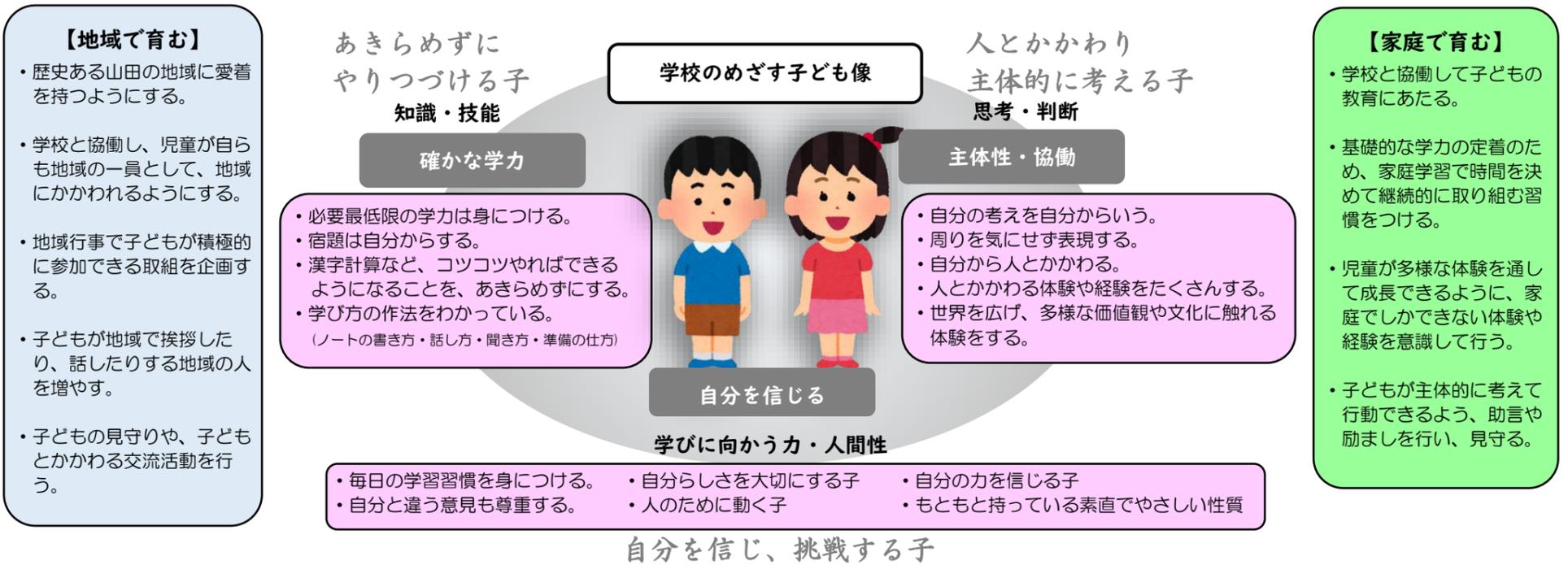


学校教育目標

主体的に考え、人と協働して、最後までやりぬく子を育てる



子どものめあて

自分で考える子 協力する子 最後までやりぬく子

〈教育方針〉

- 目指す子ども像を意識した教育活動を行い、確かな学力と未来を切り開く力を育成する。
- 一人ひとりの子どもを大切に、豊かな心と主体的に活動する力を育成する。
- 保護者や地域と協働して、信頼される学校づくりを行う。
- 地域の歴史、文化、人材等の活用を図り、学習に対する関心や意欲を高める。

〈めざす学校像〉

- 全職員がそれぞれの役割で力を発揮しつつ、教育のプロフェッショナルとして、同じ目標と「志」をもってチームで教育活動に努める。
志・協働
- 子どもたち一人ひとりの心に寄り添い、子どもたちが安心して楽しく学校生活を過ごせる明るい学校の実現に努める。
安心・明朗
- 保護者や地域と協働して、信頼される学校づくりに努める。
信頼・実行

めざす子ども・学校にしていくための手立て

志・協働

- ◎組織で動く
 - 目標を共有し、よりよい方向へ向かうよう教育者として努力する。
 - 校務分掌の担当教職員が役割を意識して、連絡・報告・相談をする。
 - 学校全体にかかわることは、企画会議に出して事前検討をする。
 - 教育活動を前向きに見直し、みんなで協働的に改善する組織を目指す。
- ◎授業の充実
 - 教室の学習スタンダードを作り、授業に向かう環境を整える。
 - 「わかる」「できた」実感のある授業をめざす。
 - 児童が意欲的に探求し、主体的になる授業の工夫や改善をする。
 - 児童一人ひとりの特性を理解し、インクルーシブを意識した指導をする。
 - 何でも良いことは真似る。研究授業の成果は取り入れる。
- ◎研鑽
 - 教育のプロとして常に専門知識や技能を取り入れ、日々の教育活動に活かしていく。
 - 指導方法や技術を学び、ライフステージに合わせて授業研究を行う。
 - 積極的に郊外や校内の研修に参加し、自分の得意分野では校内研修の講師になることを目標とする。
 - 一人一台のタブレットを生かした授業を研究していく。

安心・明朗

- ◎心と体の健康
 - 子どもたちが安心して学校に来られる集団づくり、安全な学習環境をめざす。
 - 子どもの前向きな発言や考えを称賛して、教室にあたたかい風土をつくる。
- ◎いじめの早期対応
 - 児童に自分たちでトラブル解決をする力をつけるため、まずは教師みんなが納得できる対応を意識して範を示す。
 - いじめの芽をしっかりと見取り、小さな芽のうちに対応する。問題のある場を見逃さない、流さない。
 - いじめ事案が起こったときは、自分だけで判断せずに学年や担当、管理職に相談する。
- ◎外国籍の児童や外国にルーツを持つ児童がいることを意識して指導を行い、児童の人権意識の養成に努める。
- ◎支援学級の充実
 - 支援学級の子どものたちや配慮を要する子どもたちが安心して学習できるように、インクルーシブな授業を意識する。
 - 支援学級在籍の児童が偏見やいじめにあわない学校風土をつくる。支援学級について学ぶ場を持つ。

信頼・実行

- ◎教育公務員としての自覚
 - 児童への振る舞いや言葉遣いなど、教育に携わる人間としての自覚を持つ。
 - いざというときのことを考え、常に危機管理意識を持って、教育活動にあたる。
- ◎家庭、地域、関係諸機関との連携
 - 保護者とコミュニケーションをとって、協働して子どもの教育をしていく。
 - 地域の人材や文化資源を教育活動に生かし、各学年で地域行事に参加する。
 - 関係機関との連携を密にして、情報を共有して対応する。